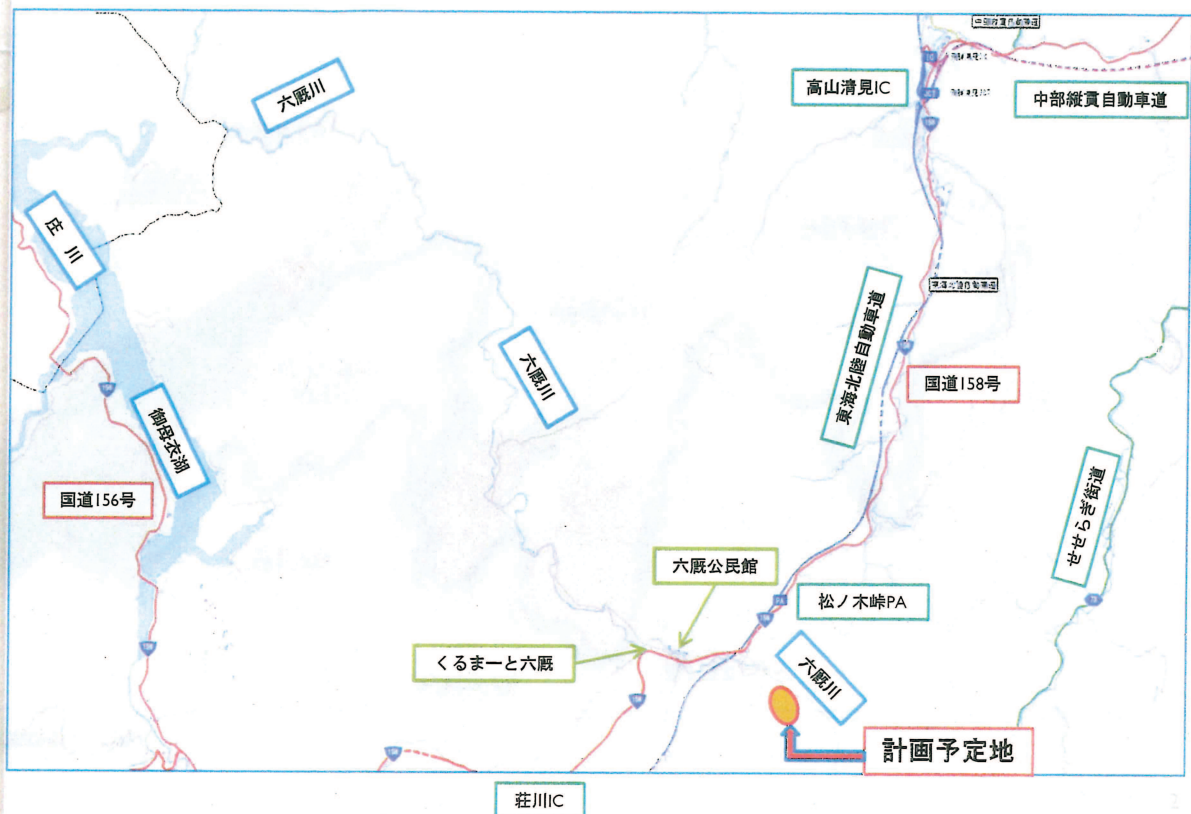


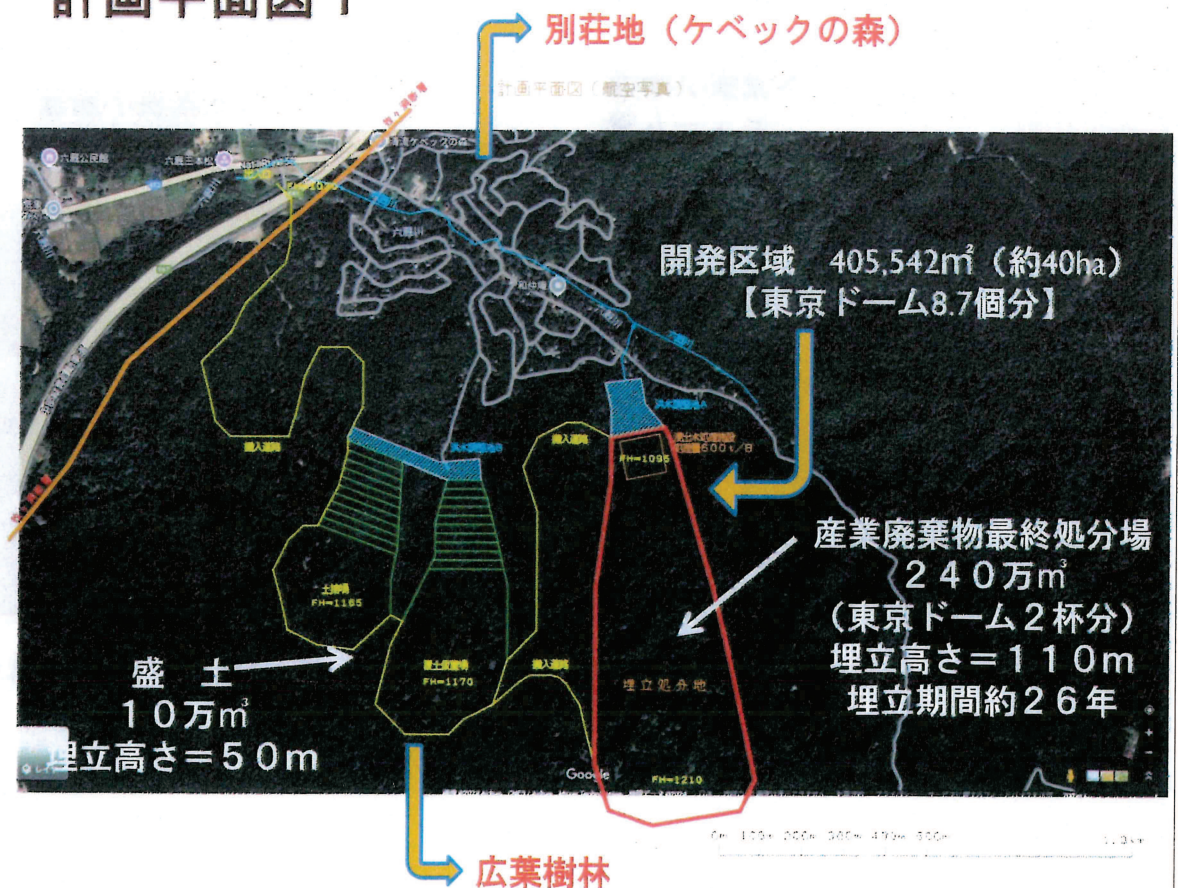
莊川町六厩地内に計画されている 産業廃棄物最終処分場について

令和7年7月16日

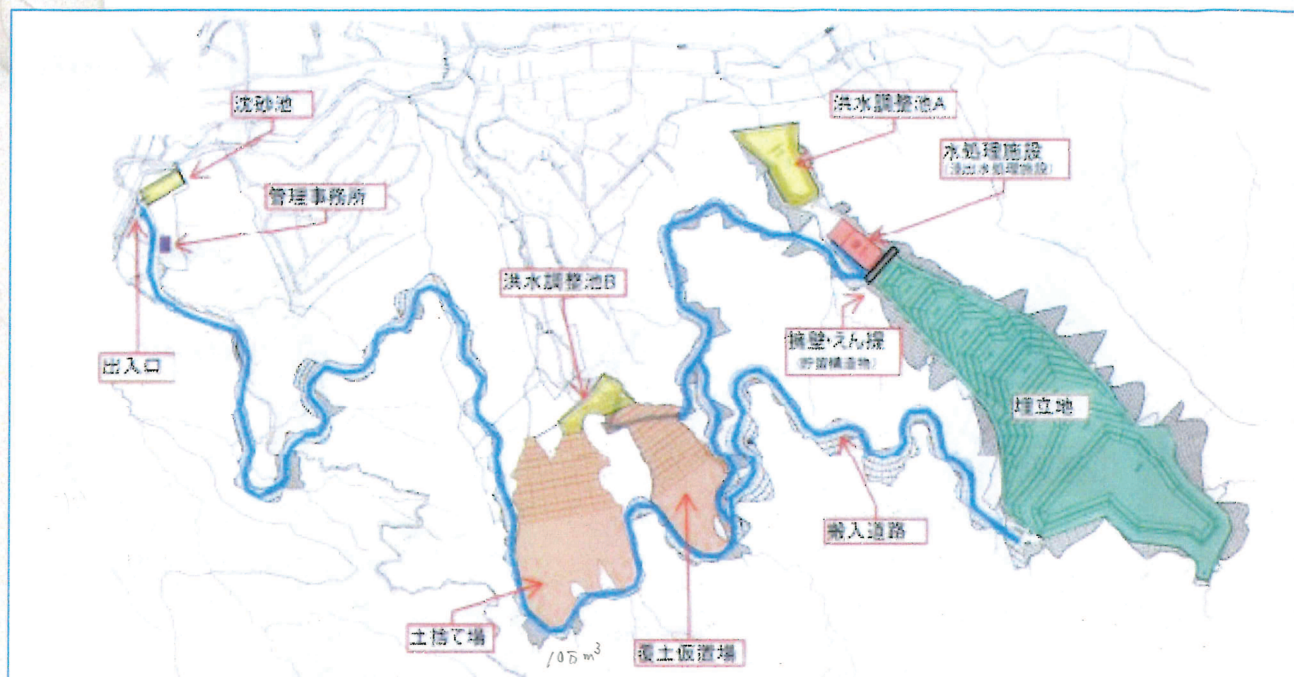
計画箇所



計画平面図 1



計画平面図2



備考アルト説明会資料より

下流狭小断面
ヒューム管
Φ1000



【処分場下流水路】

下流狭小断面
橋梁



【別荘地内の六厩川】

搬入路入口橋梁
T-14、L=20.8m
平成9年架橋



国道158号交差点



荘川町六厩地区に計画されている産業廃棄物最終処分場 に対する高山市の考え方

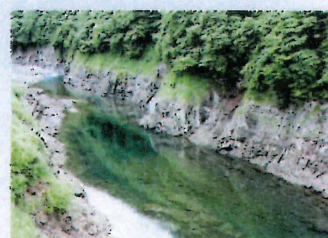
「**荘川町六厩地区は、産業廃棄物最終処分場建設の適地ではない**」
と考えています。

廃棄物の最終処分場は、廃棄物进行处理するためには必要な施設と捉えていますが、以下の理由により「適地ではない」と考えています。

○酷寒、豪雪、豪雨など**厳しい気象条件**が、埋立処分場の安全で安心な運営に適さない。

○**活断層が近接**しており、地震の揺れや地盤のずれに対する**シートの強度、盛土法面、施設の構造等の安全性に対するリスクが高い**。

○地形が急峻であり、狭く水の集まる谷部に**廃棄物や残土を高く積み上げるため、防災上のリスクが高く、跡地利用が困難である**。



- 別荘地、六軒町内会など住民等の居住地に近接しているため、生活環境への影響が大きい。
- 豊かな自然環境と動植物、魚類などの生物多様性が損なわれる可能性が高い。
- 別荘地をはじめ放流箇所下流において飲料水、農業用水など水利用が数多く存在する。
- 廃棄物搬入道路が長く、大型トレーラーの事故や多量の排ガス発生が危惧される。



- 荘川地域の自然環境を活用したまちづくりの方向性に整合しない。
- ほぼ手付かずの広葉樹林の大量伐採が行われ、水源かん養など森林機能の低下が発生する。



写真はイメージです

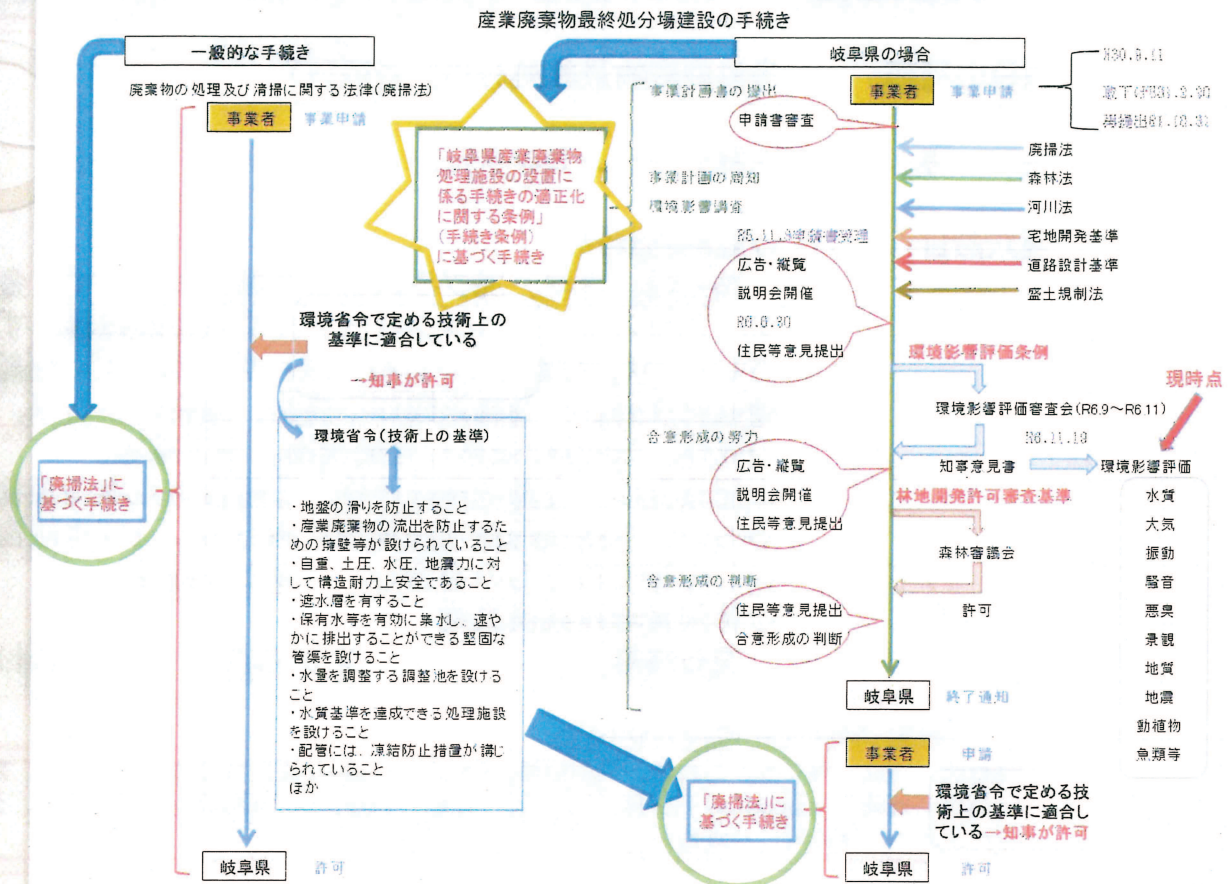
- 地域住民、下流域の関係住民が生活環境、経済基盤への影響、風評被害の発生などで大きな不安を抱いている。

- 庄川の水は、多くの人々の生活や産業を支える「神の水」と言われるほど貴重な水であり、ひとたび事故が発生し、有害物質が流出すれば大きな社会問題となる。



写真はイメージです

産業廃棄物最終処分場建設の許可権者は岐阜県知事である



岐阜県内の産業廃棄物最終処分場

業者氏名	代表者	住所	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず	動物系固定不燃物	植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	ぬい	がれき類	動物のふん尿	ダスト類	13号廃棄物	水質使用製品	水質含有ばいじん	処分方法	処分地	備考1
山村砕石株式会社	山村 達	岐阜県岐阜市大野町4-8番地	○					○	○									○			×	×	管理型	揖斐川町	
株式会社クリーンアース	松村 達彦	岐阜県岐阜市中央1-2番地						●							●	●	●				×		安定型	郡上市	●石綿含有産業廃棄物を含む、自動車等破砕物を除く。
玉環工業株式会社	加藤 久仁明	岐阜県岐阜市高蔵町3-9番地	●	●				●	●	●				●	●	○	●		○		×	×	管理型	多治見市	●石綿含有産業廃棄物を含む、自動車等破砕物を除く。
玉環工業株式会社	加藤 久仁明	岐阜県岐阜市高蔵町3-9番地	●	●				●	●	●				●	●	○	●		○		×	×	管理型	多治見市	●石綿含有産業廃棄物を含む、自動車等破砕物を除く。
株式会社フィルテック	渡田 直孝	岐阜県岐阜市第一丁4-7番地						●						●	●	●	●						安定型	多治見市	●石綿含有産業廃棄物を含む、自動車等破砕物を除く。
株式会社フィルテック	渡田 直孝	岐阜県岐阜市第一丁4-7番地	●	●	●			●	●	●	○		●	●	●	○	●		○		×	×	管理型	多治見市	●コンクリート固化したものに限り、石綿含有産業廃棄物を含む、自動車等破砕物を除く。、タールピッチ
株式会社栗田建設	栗田 和彦	岐阜県津市南本4-8番地													●	●					×		安定型	中津川市	●石綿含有産業廃棄物を含む

○岐阜県内には、産業廃棄物最終処分場が少ない。
 ○県内の処分場では、許可されている処理品目が、限定されている。
 (本計画は、廃油、廃酸、廃アルカリ以外すべての産業廃棄品目が申請されている。)

計画概要

有害物質を含む廃棄物を埋立することから、発生する汚水、ガスによる
環境汚染を防止するための設備や管理が必要な処分場
・地下水汚染対策→遮水設備・浸出水集水、処理設備・ガス排除設備

施設の種類 : 産業廃棄物最終処分場（管理型）

名称 : 六厩クリーンセンター

埋立品目 : ○産業廃棄物

燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿、動物の死体、政令第2条第13号廃棄物、廃石綿等

上記品目は、自動車等破碎物、石綿含有産業廃棄物であるもの、水銀使用産業廃棄物であるもの及び水銀含有ばいじん等であるものを含む。 以上17品目

○特別管理産業廃棄物

廃石綿等

以上1品目

合計18品目

事業活動に伴い発生するもの

焼却灰、汚泥、廃プラ、がれき、焼却炉等で発生する有害物質を含むホコリ・チリ、食品残渣、と畜場で処理した固形状の不要物（皮、骨、内臓、羽根他）、動物のふん尿・死体、シュレツダーダスト、蛍光灯（水銀含有）、アスベスト、など

設置場所 : 荘川町六厩字シシ山813-1 外2筆

東京ドーム約2個分強

東京ドーム約2杯分

処理能力 : 埋立面積 106,256㎡、埋立容量 2,434,073㎡

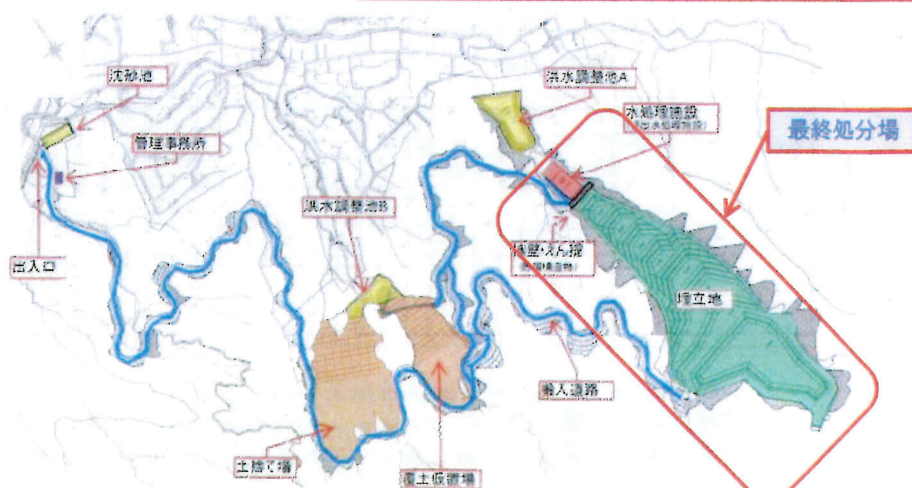
高山市第2次埋立処分地 埋立面積：13,600㎡(1/8) 埋立容量：104,700㎡(1/23)

開発面積 : 405,542㎡（敷地公簿面積1,868,198㎡）

廃棄物の中に空気を入れて、微生物による分解を促進する埋立方法

処理方法 : 準好気性埋立（サンドイッチ・セル併用埋立方式）

廃棄物を土でサンドイッチして締め固める埋立方法



汚水処理能力 : 600m³/日 (浸出水調整槽20,000m³)
 放流先 : 庄川水系六厩川
 埋立計画 : 3期計画、埋立期間約26年
 第1期 664,502m³ 第2期 830,019m³ 第3期 939,552m³
 搬入道路 : L=4.6km 林道規定に準拠、1級道路2車線
 大型車両 (トレーラー含む)
 道路幅員 2.75m、設計速度 30km/h
 最小曲線半径 30m 最大縦断勾配9.0%



事業者概要

事業者 : 株式会社 アルト (資本金1,000万円)
 創業 : 昭和60年 (1985)
 従業員数 : 90名
 代表取締役 : 坂下 明義
 事業者住所 : 富山市水橋市田袋280
 業務概要 : 廃棄物処理業等

- 一般廃棄物収集運搬
- 産業廃棄物収集運搬 (富山県、岐阜県、石川県、福井県、新潟県、長野県、千葉県で許可取得)
- 産業廃棄物中間処理業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- リサイクルプラント (アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビン、廃プラスチック、廃食用油、廃蛍光灯)
- 建設業 (土木工事ほか)

株式会社アルトの業務概要、取扱品目

・産廃取扱品目

燃え殻、汚泥、廃油、廃プラ、ガラスくず、コンクリートくず、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、陶磁器くず、動植物性残さ、がれき類

産業廃棄物収集運搬

・特別管理産業廃棄物収集運搬

医療機関から排出される感染性廃棄物の収集運搬

特別管理産業廃棄物収集運搬

・建設廃材リサイクル（分別再生処理）

産業廃棄物中間処理

・空缶リサイクル（圧縮処理）

・ペットボトルリサイクル（破碎後フレーク化）

・BDF製造（食用油からバイオディーゼル燃料製造）

リサイクルプラント

・蛍光灯リサイクル

・遺品整理、古物商

一般廃棄物収集運搬

埋立処分場の建設・管理・運営実績はない

16

廃棄物の分類

廃棄物は、大きく産業廃棄物と一般廃棄物に区別されます。

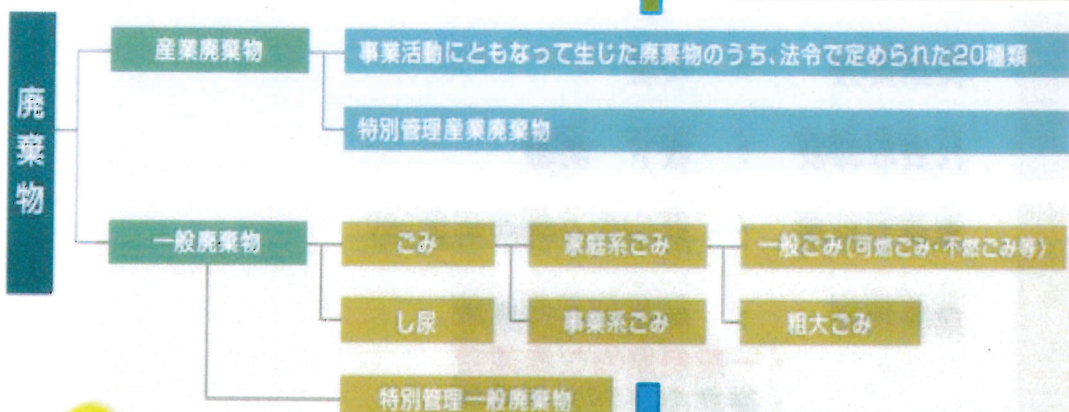
岐阜県の所管

収集運搬許可やマニフェストによって管理され、他府県に搬出することができる

処理責任

事業者

市町村



高山市の所管

市内で処理することが原則

つまり・・・

まずは産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物の中の、法令で定められた20種類のことを指します。事業活動によって生じた廃棄物でも、その20種類に該当していなければ一般廃棄物と分類されます。「一般廃棄物」は、「産業廃棄物以外の廃棄物」とお考えください。

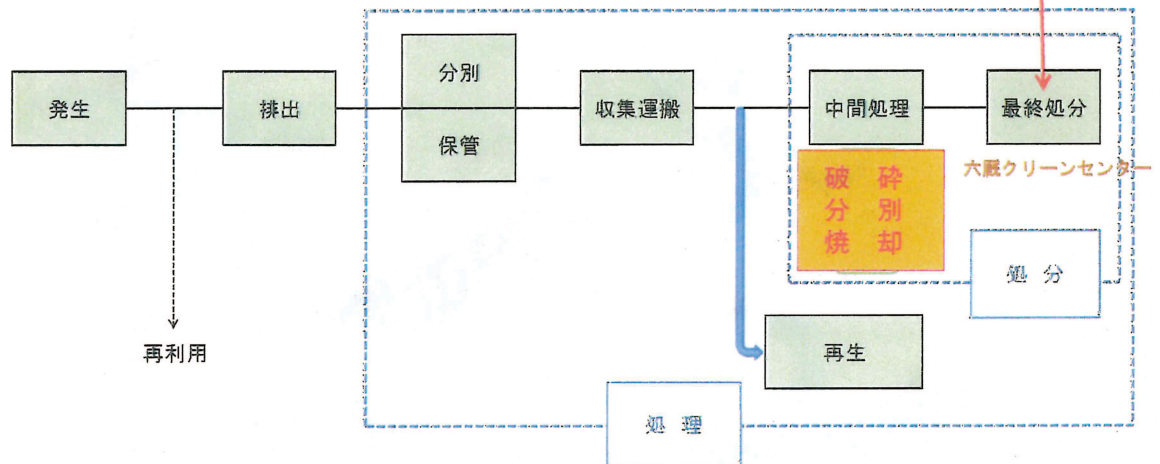


廃棄物の処理とは



現状では、廃棄物を処理する上で、最終処分場は必要不可欠なものであるが、資源循環の観点から、極力再生利用を図り、埋立処分量を減らしていくことが必要
また、廃プラスチックなどは、長期に亘り土中に存在し続けるため、環境保全の観点からも埋立処分を減らすことが必要

廃棄物処理の流れ

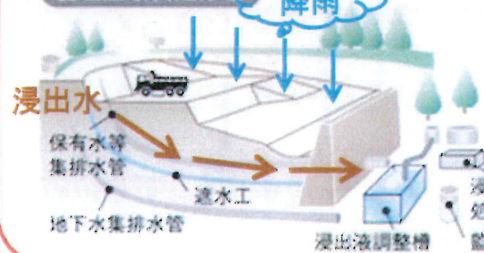


管理型最終処分場とは

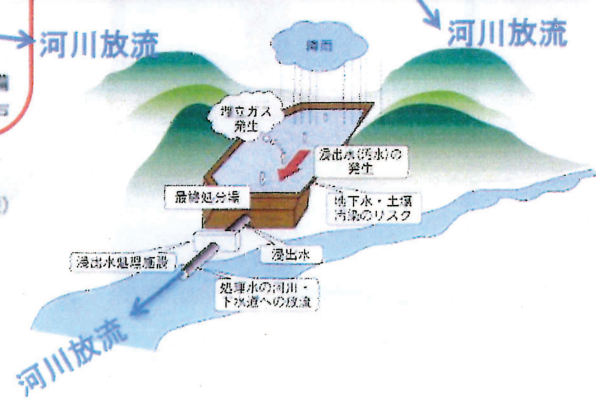
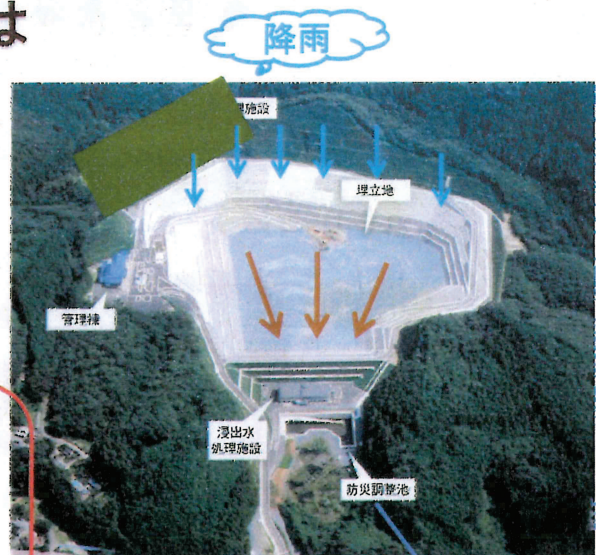
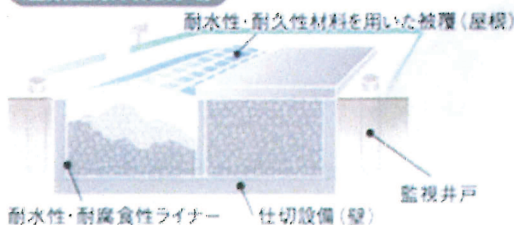
安定型最終処分場



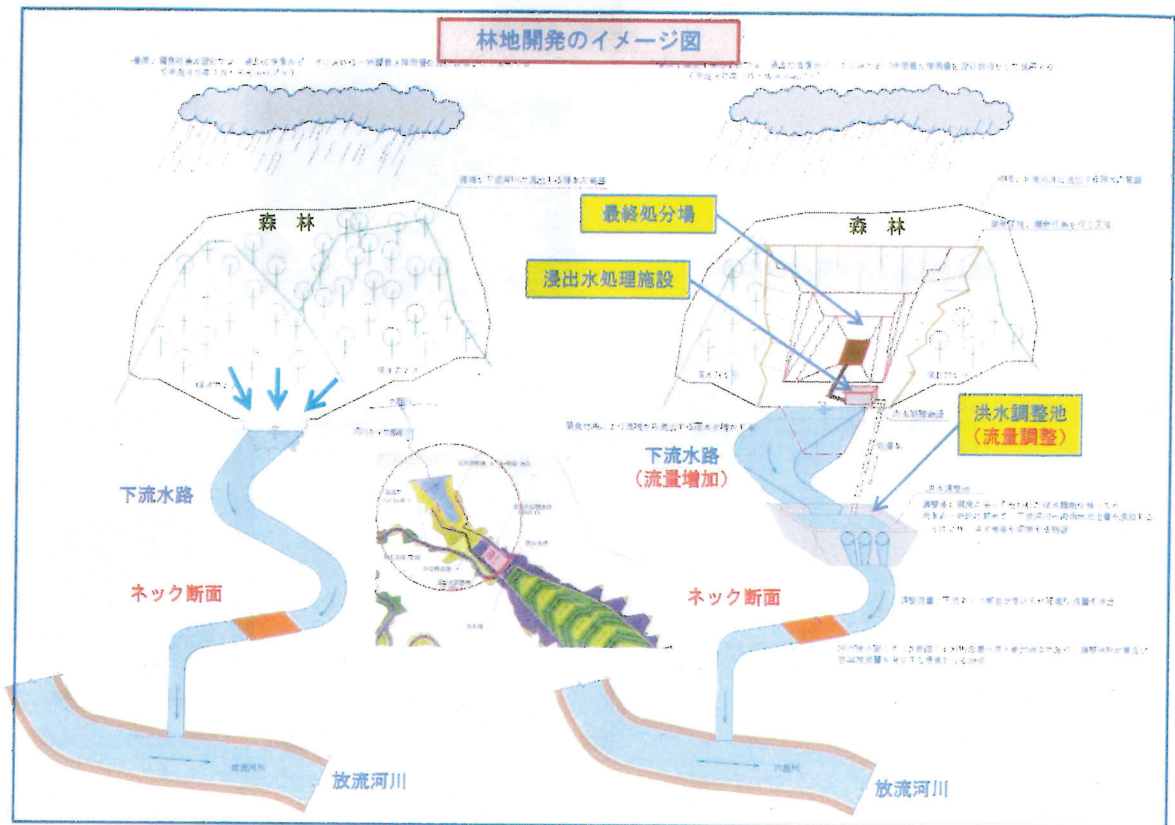
管理型最終処分場



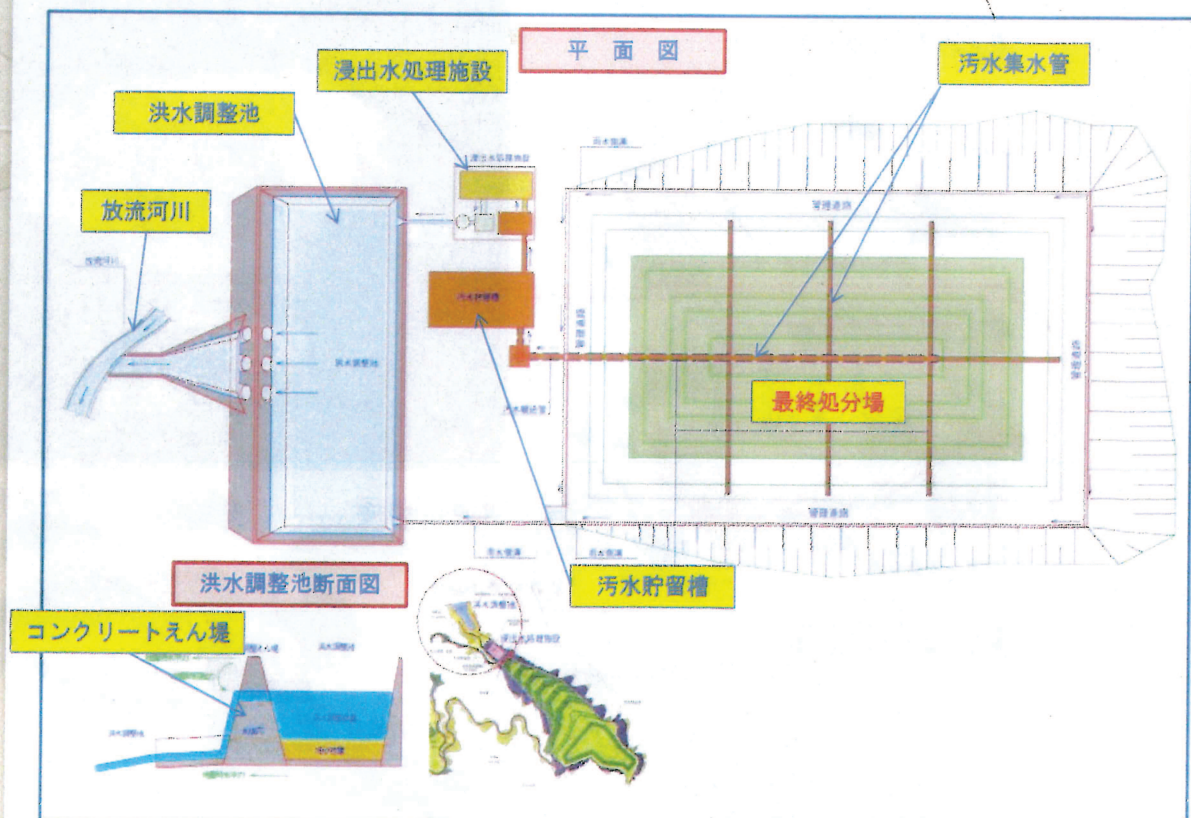
遮断型最終処分場



管理型最終処分場の概念図（１）



管理型最終処分場の概念図（２）



安定型処分場

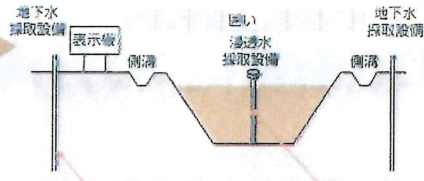
(石綿含有産業廃棄物は一定の場所に分散しないように埋立てること)



漏れ漏れは
きちんと
できたかな?

埋め立てできないもの

- 鉛関係・石膏ボード・シュレッダーダスト
- 有機質、有害物の付着等の廃容器包装



汚濁水 日〇〇 20mg/l 以下の基準
その他 環境省令の基準

地下水等 検査項目…水銀、カドミウム、鉛、砒素等と有害物質23項目

※石綿含有産業廃棄物とは、工作物の構築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって石綿をその重量の0.1%を超えて含有するものをいいます

管理型処分場

有害物等の排除

(廃石綿等は2重梱包又は型型化し、一定の場所に分散しないように埋立てること)



これなら
安心。

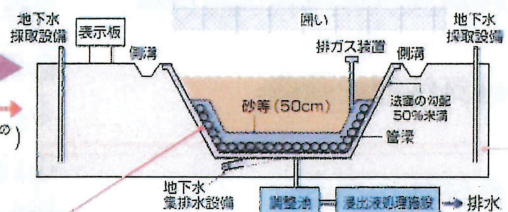
二重遮水構造

例 1 遮水シート+不織布等+遮水シート

2 遮水シート+粘土層50cm以上

3 遮水シート+コンクリート等5cm以上

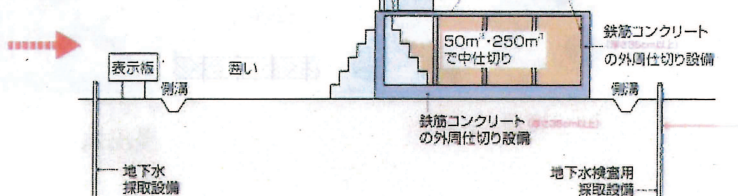
※遮水シートの厚さは、アスファルト系3mm以上、その他は1.5mm以上



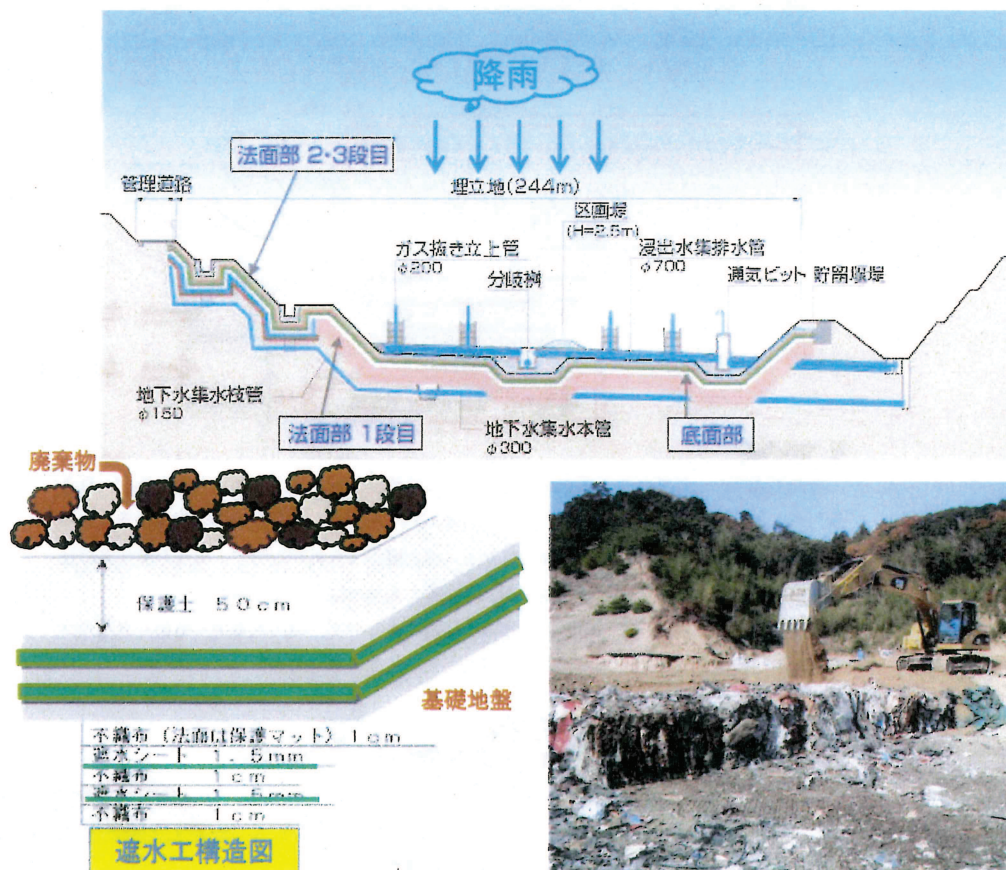
排水基準…BOD 80mg/l 以下
COD 90mg/l 以下
SS 60mg/l 以下
その他 環境省令の排水基準

地下水の 検査項目…水銀、カドミウム、鉛、砒素等と有害物質24項目と電気伝導率及び塩化物イオン濃度

遮断型処分場



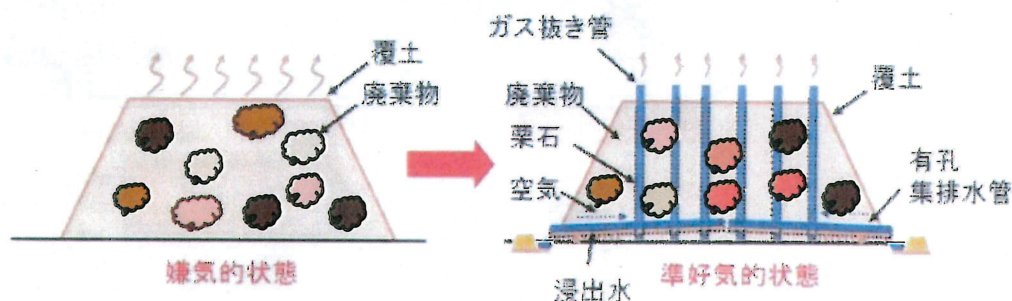
管理型最終処分場の構造



埋立構造による分類

埋立層内の空気の存在状況により次のように分類される。

分類	特徴
改良型嫌気性衛生埋立構造	埋立層内への空気流入が阻害されるため、埋立層内が嫌気性状態となる。
準好気性埋立構造	自然通気により埋立層内に空気を供給する。 <u>空気による反応を促進し、ガス抜きを設ける</u>
好気性埋立構造	送風機などにより、埋立層内に空気を供給し、埋立層内を好気性状態にする。



24

廃棄物処理法においては、一般廃棄物の一層の厚さを約3m以下とし、一層ごとに表面を土砂で50cm前後覆うことが定められ、いわゆるサンドイッチ方式を規定している。

しかし、埋立面積の広い埋立地では、所定の厚さを確保するためには一日の埋立量を小さくせざるを得なくなり、ごみの法面が生じる。法面も覆土が必要であるため、実質上は、セル方式またはセル方式とサンドイッチ方式の併用となる場合が多い。

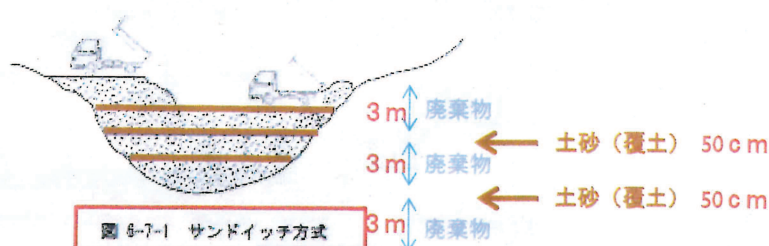


図 6-7-1 サンドイッチ方式

2) セル方式

セル方式は、一日当たりの埋立ごみを法面も含め覆土を行い、セル状にするもので、現在最も多く用いられている方式である。一つのセルの大きさは、通常一日の埋立処分量によって自ずと決まり、セルごとに一定独立したごみ埋立層ができあがるので、火災の発生及び拡大の防止、ごみの飛散防止、悪臭及び衛生害虫等の発生を防止する効果がある。

しかし、発生ガスや埋立層内の水の移動が阻害されるので、浸出水集排水施設や発生ガス処理施設の設置に際してはこの点を十分配慮した工夫が必要である。



図 6-7-2 セル方式

25

懸念される事項（１）

○水質汚染（地下水汚染含）

全国各地から搬入される廃棄物に含まれる重金属などの有害物質が下流河川や地下水に流出することが懸念されます。

排水経路＝六厩クリーンセンター→六厩川→御母衣湖→庄川→富山湾

主な埋立廃棄物

- 焼却灰
- 焼却炉等で発生する有害物質を含むホコリ・チリ
- 汚泥
- 廃プラスチック
- 金属くず
- ガラス・陶磁器くず
- がれき（コンクリート、アスファルトほか）
- 動植物残渣（魚・獣のあら等、醸造かす、発酵かすほか）
- と畜場で処理した固形状の不要物（皮、骨、内臓、羽根他）
- 動物のふん尿・死体
- シュレッダーダスト
- 蛍光灯（水銀含有）
- アスベストなど

遮水シート＋浸出水処理施設で基準値以下にして六厩川に放流

主な有害物質

カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、水銀、ダイオキシン類、ふっ素、アンモニア、大腸菌群ほか

処理水を、排水基準値以下にして放流する
→有害物質の含有量がゼロになるわけではない

安全確保

豪雨

豪雪

極寒

遮水シート＋浸出水処理施設

地震（断層）

経年劣化

有害物質が河川や地下水に流出すると、完全に除去することは困難である

適正な埋立作業

処理能力確保

適正な維持管理

環境測定（水質、ガス等）

【岐阜県内】

六厩クリーンセンター→六厩川→御母衣湖→庄川→白川村合掌集落

【富山県内】

庄川→五箇山合掌集落→南砺市→砺波市→高岡市→射水市→富山湾

砺波平野・射水平野

白山国立公園
県立自然公園
奥長良川県立自然公園
白木水無県立自然公園
五箇山県立自然公園
県定公園
庄川峡県定公園
頼成の森等県民公園
高岡古城県定公園

庄川沿岸用水土地改良区連合

庄川上流用水土地改良区
庄西用水土地改良区
鷹栖口用水土地改良区
庄東用水土地改良区
射水平野土地改良区

一級河川 庄川

流域面積 1,189 km²

岐阜県～富山県 7市1村

流路延長 115 km

流域内人口 約2.8万人

受益農地 12,000ha

受益自治体

富山市・高岡市・射水市・
砺波市・小矢部市・南砺市

- ・田、畑への給水
- ・水道用水
- ・工業用水

「雄神庄川」が略されて「庄川」となった。
江戸時代から物流等に使われ、治水事業などにおいても人々の身近にあった河川である。

庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会 (チラシ1)

地域の皆様

**清流「庄川」の最上流部 大切な水源林で
大規模な産業廃棄物最終処分場の建設計画があります！**

1. 産業廃棄物最終処分場建設計画の概要

富山県の西部地域を潤す清流「庄川」の最上流部で、産業廃棄物最終処分場を建設する計画があります。事業者から事業を認可する岐阜県に提出された建設計画の概要は、以下の通りです。

- ① 計画場所は、岐阜県高山市荘川町六厩（むまや）地内
- ② 埋め立てる面積は、11ha
- ③ 埋め立てる産業廃棄物の種類は、「燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、コンクリートくず、金属くず、紙くず、がれき類、ばいじん、動物の糞尿、動物の死体、腐石類、水銀使用製品産業廃棄物等、15品目」
- ④ 埋め立てる産業廃棄物の総量は、約240万t（東京ドーム25個）で埋め立て期間は、26年間

【六厩は清流】



2. 今回の産業計画の問題点

① 計画場所は産業廃棄物最終処分場の建設に適した場所ではありません。

「庄川」の源流は富山県西部地域の農業用水や水道水として広域的に利用されています。その水源部で「膨大な量の有害物質を埋め立てる計画」は、河川に降り着く基岩部地域の住民に多大な不安感を与えます。

② 土石流災害を誘発する恐れがあります。

岩を埋め立てた上には、集中豪雨や大雪により多種多様な土石流災害を引き起こしています。計画場所は国内有数の豪雨地帯です。巨無怪雨の害を受けて崩れ上がり崩れ、大規模な土石流災害につながる恐れがあります。

③ 風評被害の恐れがあります。

清流「庄川」の水源部で「膨大な量の有害物質が埋められていること」に対し、風評被害が発生する恐れがあります。地域ブランド力を活かした産産物をはじめ、飲料水や庄川のアユなど、観光・産業にも影響を及ぼしかねません。

このため、関係市町村水産部会では、庄川沿岸の市町村、富山県、岐阜県、石川県の4市と富山県及び岐阜県市町村に対し、上記懸念について要望書を提出しています。また、4市の協議会においても意見書を岐阜県知事に提出しています。

**庄川の清浄で豊かな水は、我々の先祖が大切に守り育んできたものです。
私たちが責任をもって次世代に伝えていく責務があります。**

このチラシは前回2月に発行しておりますが、今回改めて皆様にお知らせするものです。今後、皆様のご理解とご協力のもと反対署名活動を実施する予定です。私たち下流住民の思いを届けましょう。

令和元年7月9日発行

庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会HP
(資料1)

18

庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会 (チラシ2)

岐阜県高山市荘川町六厩地区産業廃棄物最終処分場建設について

最終処分場建設予定位置図



もし、産業廃棄物最終処分場から有害物質が六厩川に流出した場合、御母衣ダムを経由し一級河川庄川を流下して富山湾に流入します。そうすると新波平野の農業、及び砺波広域圏の水運への影響が計り知れないものとなります。

庄川流域六厩産廃処分場計画対策協議会HP
(資料2)



磨沢平野間所屬は別荘地であり、六厩川の清流が別荘地の中を流れています。（写真：別荘地と六厩川）



六厩産廃処分場建設対策委員会（H31.1.9 荘川町有志で設立） による署名活動

令和3年9月～11月 約4万6千名の署名が集まり
令和4年1月11日 岐阜県知事に提出

「今こそみなさんの力で、建設の阻止を！！」

六厩産廃処分場計画対策委員会

富山県事業者（株）アルトの産廃計画の概要

事業者より示された計画は、①埋め立て地の面積（11ha）②埋め立てる総量（約240万m³）
③廃棄物の種類（汚泥・廃プラスチック・コンクリートくず・金属くず・ばいじん・木くず、動物の死体等
18品目・水銀・石綿の入ったものを含む）④埋め立てる期間（準備期間後26年間）といった進方もない
ものです。



今回の産廃計画の問題点

(1)計画地は、産業廃棄物最終処分場の建設に適した場所ではありません！

六厩地区を含む荘川町全域が白山エネコエコパークに設定され、計画地は一級河川「庄川」の源
流部で絶滅危惧種アジメドジョウの他、希少動植物が生息しています。「庄川」は、高山市から白川村・
富山県との4つの市を越えて富山湾へと注ぎます。富山県内の一級河川では、庄川を飲料水の水源とし
て利用しています。

大規模な山林開発は環境破壊に繋がり、さらに埋め立てられた有害物質が河川に流入する危険があ
るため、六厩地区は建設には適していません。

(2)土石流災害を誘発します！

谷を埋め立てた盛り土は、これまでに大雨や地震で土石流災害を引き起こしてきました。計画では、
大規模な林地開発の後に、覆土仮置場・土留場として人工的盛り土が設けられています。

集中豪雨や地震により、盛り土が崩れ土石流災害に繋がる恐れがあり、人命や財産が危険にさらさ
れます。

(3)風評被害は、計り知れないものがあります！

豊かな自然を過ごし、農産物の生産が行われています。また、庄川沿いを始め豊富な観光資源を
求め、四季を通じて多くの観光客が訪れています。

山林開発や産業廃棄物の埋め立てによる風評被害が、農産物や観光産業をはじめ多様な分野へ甚
大な影響を及ぼすことが懸念されます。

※現在の豊かな自然は、先祖から大切に守り育まれてきたものです。
私たちが責任を持って、後世に伝えなければなりません。みなさん、
反対署名に全面的な御協力をお願いします！

高山市荘川町（六厩地区）産業廃棄物最終処分場建設反対署名

岐阜県知事 古田 登 様

（要望）

富山県の（株）アルトが、荘川町六厩地区に産業廃棄物最終処分場を計画してい
ます。一級河川「庄川」の源流部に、東京ドーム2杯分の量にあたる水銀使用製品
や廃石綿等の人体への有害物質を含む廃棄物を埋めようとするものです。

計画では大規模な山林開発の後に、覆土仮置場・土留場として大規模な人工的盛
り土が計画されており、豪雨や地震による土石流災害が危惧されます。

また、風評被害として豊かな自然を活かしてきた農産物・観光産業をはじめ多
様な分野へ甚大な影響を及ぼすことも懸念されます。

人々の大切な生命と財産・豊かな自然を守るため、荘川町六厩地区での産業廃棄
物処分場建設には断固反対します。

NO	ご 署 名	ご 住 所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

（送付先）〒601-8422

高山市荘川町半井239-5

六厩産廃処分場計画対策委員会 委員長 渡邊 正樹

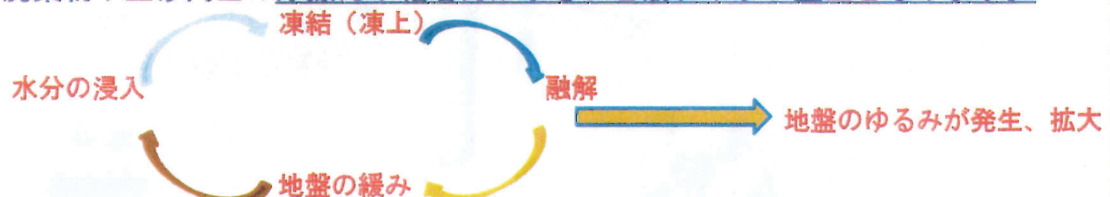
懸念される事項（2）

○土砂災害発生

埋立容量243万m³（東京ドーム2杯分）の廃棄物が110mの高さで
積み上げられます。

処分場を建設するため発生する土砂10万m³が50mを超える高さで
積み上げられます。

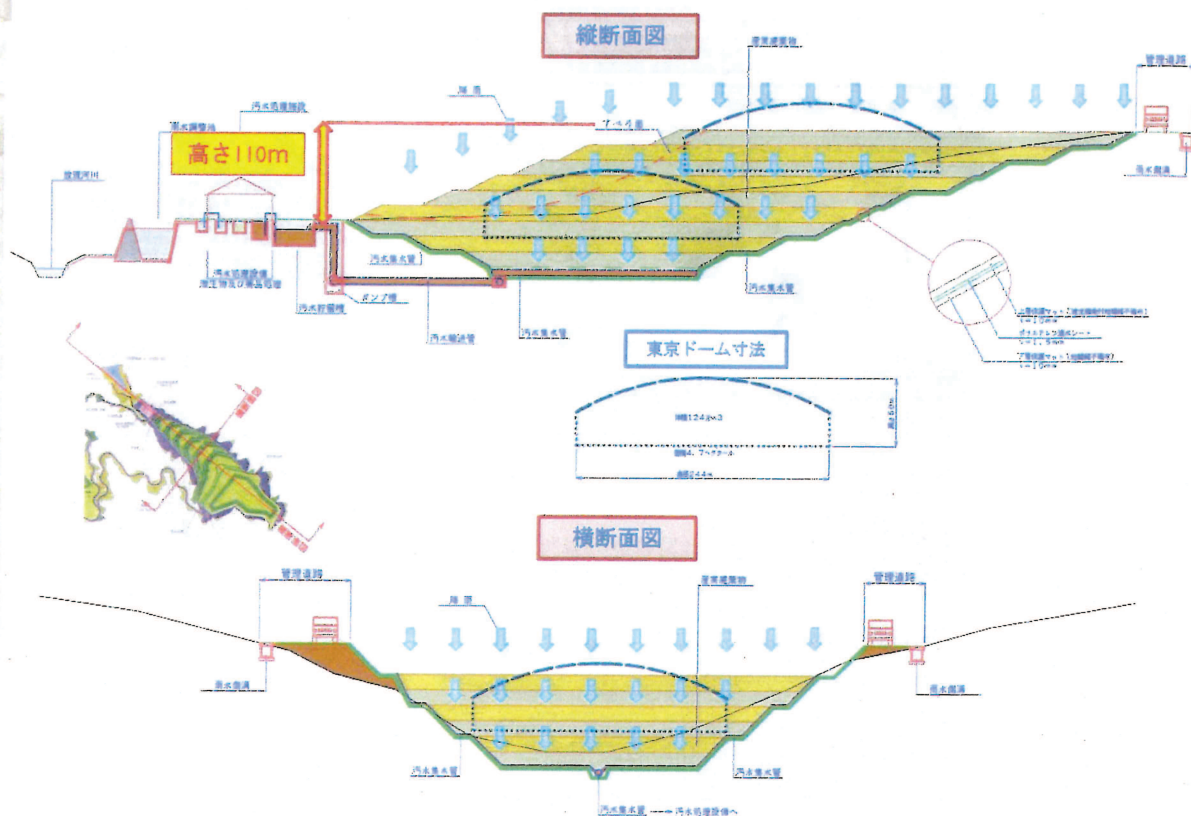
- ・ 廃棄物や土砂が積み上げられる場合、廃棄物や土砂の締め固めを十分に行うことが必要です。
- ・ 廃棄物や土砂に雪や氷が入り込むと締め固めが緩むことが考えられます。
- ・ 締め固めの十分でない廃棄物や土砂は、地震によって崩れやすくなります。
- ・ 積み上げられた廃棄物や土砂の中に水が浸入すると崩れやすくなります。
【令和3年7月熱海土石流災害（死者28人）→盛土規制法施行（R5）】
- ・ 廃棄物や土砂同士の摩擦力や粘着力が小さいと崩れやすい盛土となります。



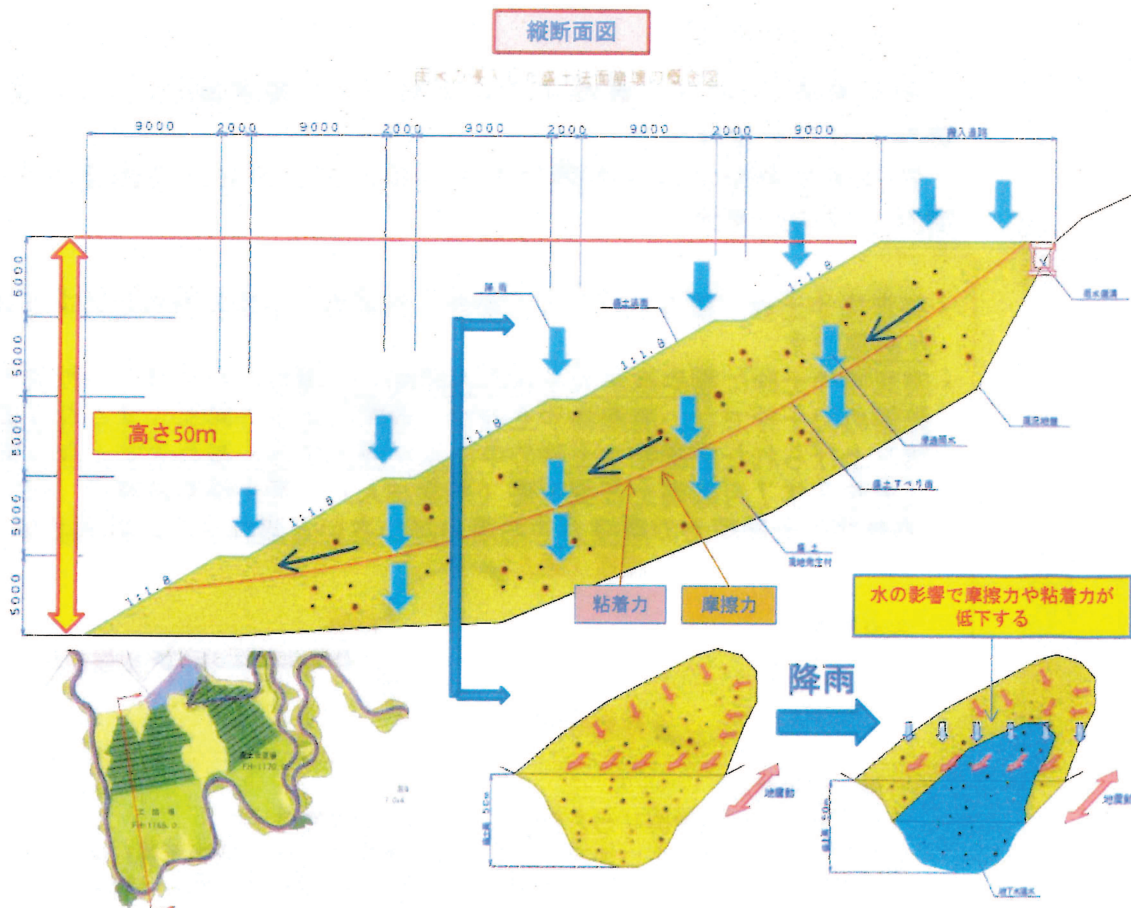
○六厩の自然条件

- ・ 本州で最も寒い地域の一つと言われている（最低気温-25°）
- ・ 豪雪地であり、雨も多い地区である（垂直積雪深2.6m、時間雨量73mm、日降雨量290mm）
- ・ 処分場から約1.5km地点に活断層である牧ヶ洞断層が存在する（調整池は1km）

管理型最終処分場の概念図（2）



32



気象庁（六観測所）データ

六観測所

観測項目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	統計期間
日降水量 (mm)	290 (2004/10/20)	254 (2002/7/10)	225.5 (2015/7/7)	212 (1990/9/28)	189.0 (2011/5/29)	185.0 (2016/7/5)	185 (1989/9/7)	181.5 (2014/5/10)	180.0 (2009/7/27)	176.0 (2015/6/17)	1978/11 2025/5
日最大1時間降水量 (mm)	26.5 (2012/7/20)	25.5 (2012/8/31)	21.5 (2023/9/1)	21.0 (2014/8/15)	21.0 (2017/8/22)	20.5 (2003/5/23)	19.0 (2002/7/30)	18.5 (2018/8/13)	18.5 (2002/9/1)	18.0 (2002/6/24)	2009/1 2025/5
日最大2時間降水量 (mm)	73.0 (2006/8/28)	67.0 (2011/7/20)	63.0 (2004/8/15)	55.0 (2023/9/1)	54.0 (2024/9/11)	54 (2004/10/20)	54 (1999/9/15)	53.5 (2001/7/31)	53 (2002/7/10)	52 (1999/9/14)	2005/5 1978/11
月降水量の多い方から (mm)	950.5 (2020/7)	835.0 (2018/9)	824 (1999/9)	789 (1999/9)	776.0 (2018/7)	692.0 (2014/8)	689.0 (2009/7)	627 (2011/8)	627 (2000/6)	618 (2002/7)	1978/11 2025/4
月降水量の少ない方から (mm)	39 (1997/10)	39.5 (2020/8)	30 (1994/8)	42 (1982/10)	42 (2006/8)	42 (1998/11)	42 (1996/4)	42 (2000/8)	42 (2018/11)	42 (1982/12)	2025/4 1978/11
年降水量の多い方から (mm)	3928.5 (2018)	3310 (2004)	3124 (1950)	3073 (1989)	3019.0 (2021)	3014.5 (2000)	2847 (1988)	2820 (1992)	2803 (1988)	2801 (1999)	1978/11 2024/4
年降水量の少ない方から (mm)	1622 (1994)	1572 (1986)	1553 (1984)	1554 (2001)	1559.5 (2008)	1556 (1987)	1577 (1992)	1521 (1987)	1539 (2007)	1515 (1962)	1978/11 2024/4
日降水量の多い方から (℃)	30.5 (2001/6/2)	33.2 (2018/8/4)	33.0 (2001/8/3)	32.7 (2018/7/19)	33.5 (2015/8/13)	33.5 (2001/7/24)	32.5 (1994/8/7)	32.4 (2024/5/2)	32.4 (2015/8/1)	32.4 (1994/8/5)	1978/11 2025/5
日降水量の少ない方から (℃)	-10.1 (1981/12/26)	-9.7 (1994/2/7)	-9.2 (2003/1/25)	-9.1 (1988/2/3)	-9.0 (1997/2/22)	-8.8 (1995/12/26)	-8.7 (1995/12/26)	-8.6 (1995/12/26)	-8.2 (2012/2/3)	-8.0 (2018/1/25)	1978/11 2025/5
日降水量の多い方から (℃)	21.7 (2023/8/15)	21.3 (2020/8/11)	21.2 (1998/8/16)	20.9 (1997/8/10)	20.9 (1990/8/23)	20.8 (2002/7/28)	20.8 (1992/8/22)	20.7 (2004/8/3)	20.7 (2003/8/23)	20.6 (2004/8/14)	1978/11 2025/5
日降水量の少ない方から (℃)	-25.4 (1981/2/28)	-25.1 (1981/1/31)	-24.3 (1982/1/18)	-24.0 (1991/2/26)	-23.9 (1991/1/27)	-23.9 (1981/1/29)	-23.8 (1995/12/26)	-23.4 (2003/1/16)	-23.4 (1992/2/5)	-23.0 (1986/1/13)	1978/11 2025/5
月降水量の多い方から (℃)	22.5 (2024/8)	22.1 (2018/7)	22.1 (2010/8)	22.0 (2023/8)	21.9 (2020/8)	21.9 (2019/8)	21.9 (2001/7)	21.6 (2008/8)	21.4 (1994/7)	21.3 (2014/7)	1978/11 2025/4
月降水量の少ない方から (℃)	-8.1 (1986/2)	-8.0 (1981/1)	-7.7 (1986/1)	-7.4 (2011/1)	-7.3 (1985/1)	-7.2 (1984/1)	-7.2 (1984/1)	-7.0 (1981/2)	-6.7 (2008/2)	-6.7 (1986/2)	2025/4 1978/11
年降水量の多い方から (℃)	9.5 (2024)	8.8 (2023)	8.6 (2020)	8.6 (2016)	8.6 (1998)	8.4 (2021)	8.4 (2019)	8.4 (2019)	8.2 (2022)	8.1 (2004)	1978/11 2024/4
年降水量の少ない方から (℃)	5.7 (1991)	6.2 (1995)	6.2 (1986)	6.2 (1994)	6.3 (1998)	6.5 (1992)	6.5 (1985)	6.5 (1990)	6.9 (1997)	6.9 (1983)	1978/11 2024/4
日降水量の多い (%)	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///
日降水量の少ない (%)	10.8 東向き (2018/9/4)	P 西向き (1992/5/1)	9 西向き (1991/7/6)	6.8 東向き (2012/6/21)	6.2 西向き (2013/4/3)	6.1 西向き (2019/4/27)	6 北向き (2007/4/28)	6 西向き (2004/9/8)	6 東向き (2004/8/7)	6 北向き (2000/4/23)	1978/11 2025/5
日最大1時間降水量の多い (mm)	26.5 東向き (2018/9/4)	24.1 南 (2014/5/10)	21.2 南向き (2019/8/16)	19.4 北向き (2018/9/1)	16.9 東向き (2018/8/24)	16.5 北向き (2017/10/13)	15.1 南 (2012/6/31)	17.6 東向き (2018/8/13)	17.0 西向き (2019/4/27)	16.9 西向き (2019/10/12)	2009/1 2025/5
月降水量の多い方から (%)	217.5 (2023/5)	215.3 (2021/4)	207.3 (2022/5)	205.1 (2022/4)	201.4 (2023/3)	199.3 (2023/7)	188.1 (2023/4)	185.2 (2024/5)	183.4 (2025/4)	183.6 (2024/6)	2021/3 2025/4
月降水量の少ない方から (%)	51.8 (2024/12)	65.7 (2022/12)	74.3 (2025/2)	80.6 (2021/12)	90.5 (2022/2)	90.6 (2022/8)	95.0 (2022/1)	99.8 (2022/8)	100.2 (2023/1)	100.6 (2024/1)	2021/3 2025/4
年降水量の多い方から (%)	1901.4 (2023)	1854.7 (2022)	1840.8 (2024)	1443.0 (2021)	///	///	///	///	///	///	2021/3 2024/4
年降水量の少ない方から (%)	1640.8 (2024)	1654.7 (2022)	1901.4 (2023)	///	///	///	///	///	///	///	2021/3 2024/4

※ 観測項目の単位

- 2021年3月1日より、アメダスの日降水量は「指針時刻表（日降水量）」から得る指針値となりました。それまでの日降水量による観測値との相対差を記載しました。詳しくは「[アメダスの観測値と指針値](#)」をご覧ください。
- 2021年3月1日までの日降水量による観測値の相対差（単位値）については、[2021年度アメダスの観測値と指針値の相対差（日降水量）](#)（[2021年度アメダスの観測値と指針値の相対差（日降水量）](#)）をご覧ください。

2018（平成30年7月） 東海北陸自動車道路荏川⇄飛騨清見間 法面崩落現場（上小島地区）

工事期間：2018.10～2021.1

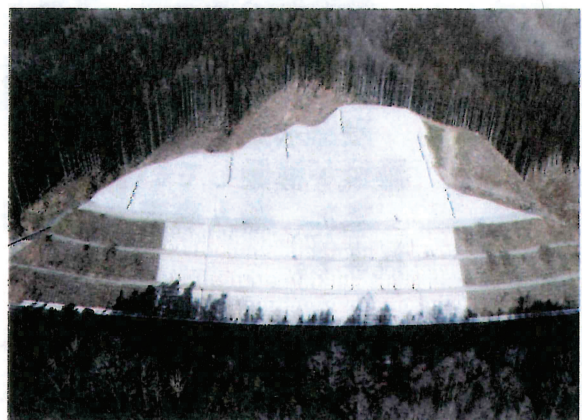
工事中



工事中



完了



懸念される事項（３）

○悪臭被害

処分地からの悪臭・・・悪臭の原因物質を含む大気は、通常の空気より重いため、標高の低い方に下がってきます。

そのため、最終処分場より低い別荘地など住民の居住地区に、悪臭が漂ってくることが懸念されます。

また、冬期は地表面が冷やされ、上昇気流が発生しないため、より一層地形に沿って下がることが想定されます。

搬入車両からの悪臭・・・汚泥、動物のふん尿、食品残渣などの臭気が、搬入車両から拡散されることが懸念されます。

○大気汚染

粉じん、アスベストなどの飛散・・・搬入された廃棄物を処分場で降ろす時や敷き均しする時など、粉じんの発生及び大気への拡散が懸念されます。

ガスの発生・・・最終処分場では、廃棄物の発酵に伴い、温室効果ガスであり、引火性があるメタンガスなどが発生します。硫化水素の発生する可能性も否定できません。

搬入車両の排ガス・・・大型トレーラーの行き来により、排気ガスからのばいじん、窒素酸化物等の拡散が懸念されます。

懸念される事項（４）

○土壌汚染

遮水シートの損傷や浸出水（汚水）未処理などにより有害物質が、処分地外に流出した場合には、表流水、地下水及び周辺土壌が汚染されます。

○振動・騒音被害

最終処分場では、大型トレーラーによる搬入、処分場への投入、重機による敷き均し、締固めなどが繰り返し行われます。

冬期には、除雪作業が深夜、早朝から行われることが想定されます。

浸出水処理施設では、２４時間、３６５日騒音や振動を発生させる機器類が稼働しています。

また、搬入車両の行き来による沿線区域への振動、騒音被害が懸念されます。

○搬入道路の安全性低下、事故増加

大型車両の通行量増加による交通事故や動物との接触事故の増加が懸念されます。

大型トレーラーの行き来により、国道１５８号及び市道の舗装や橋梁の劣化が懸念されます。

○自然環境喪失

広大な広葉樹林の伐採による希少動植物等の生息域消滅が懸念されます。

懸念される事項（５）

○火事及び爆発事故の発生

近年、埋立処分場では、家電製品に内蔵されたりリチウムイオン電池の発熱、発火による火災が頻発しています。

発熱から発火までの時間が長いため、夜間、無人の処分場で火事が発生することやメタンガスに引火して爆発事故が発生することが懸念されています。

○下流河川の越水、洪水被害の発生

大規模開発によって山林の水源かん養機能が低下し、下流河川の急激な増水や越水による洪水被害の発生が懸念されています。

○風光明媚な景観の喪失

当該計画地は、都会の喧噪を逃れ、豊かな自然を享受できる場所として整備された別荘地の真上に計画されている。

退職金で終の棲家として別荘を購入された方、孫と一緒に釣りをすることが楽しみで別荘を所有している方などから悲痛な意見書が提出されている。

最終処分場が、できてしまえば、別荘地からコンクリートのえん堤が見え、騒音、臭い、ホコリが舞い込むなど別荘地だけでなく、周辺地域の生活環境保全上の重大な問題として心配されています。

38

懸念される事項（６）

○まちづくり活力、地域ブランド等の消滅

荘川地域には、清涼な気候を活かした高冷地野菜をはじめ、そば、鮎などの特産品が数多く存在します。

また、荘川桜、ミズバショウ、村芝居などの固有財産や伝統文化が地域住民により大切に育まれ、本年３月には、市内初の保小中一貫教育の場として「荘川さくら学園」が完成するなど「持続可能なまちづくり」に多数の住民が取り組んでいる地域である。

そのような、住民参加によるまちづくりや地域の存続に今回の産廃計画は、大きな影を落としています。

○事業者の適正な運営管理

事業者には、埋立処分場の建設、運営、管理、修繕などの実績がない。厳しい気象条件の中、活断層に近い、風光明媚な環境の場所で産業廃棄物最終処分場の適切な管理や運営が可能であるのか。

全国から搬入される有害物質を含む産業廃棄物を埋めて、長期に亘り安全を確保し、施設管理・運営を継続的に行えるのであろうか。

廃棄物は、土中に埋められていても半永久的に土にかえるものではなく、微生物反応によるガスや臭いも長期間発生し続けるものである。

地域住民との関係を構築し、埋立期間終了後も埋立処分地を適正に管理し、地域に根ざした企業として、周辺環境保全に責任が持てるのであろうか。

荘川地域の住民だけでなく、白川村、富山県内の関係住民が大きな不安を抱えています。

埋立処分地建設で行われる生活環境影響調査

最終第一編：係る主な生活環境影響調査

大気質・気象調査（処分場）



大気質調査（搬入車両）



臭気調査



振動・騒音調査

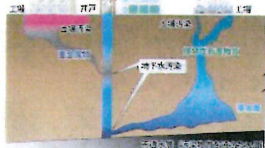


景観

水質調査



地下水調査



動植物等生態系調査



調査項目	調査内容	調査方法	調査結果
大気質・気象調査（処分場）	大気中の汚染物質の濃度を測定する。	大気モニタリング装置を設置し、24時間連続で測定を行う。	測定結果をグラフで表示し、傾向を分析する。
大気質調査（搬入車両）	搬入車両からの排気ガスによる大気汚染を調査する。	搬入車両の排気口付近にセンサーを設置し、排気ガスの成分を測定する。	排気ガスの成分を測定し、大気汚染の程度を評価する。
臭気調査	処分場からの臭気を調査する。	臭気測定器を設置し、臭気濃度を測定する。	臭気濃度を測定し、臭気の影響を評価する。
振動・騒音調査	処分場の振動と騒音を調査する。	振動計と騒音計を設置し、振動と騒音のレベルを測定する。	振動と騒音のレベルを測定し、生活環境への影響を評価する。
景観	処分場の景観を調査する。	現地視察と写真撮影を行う。	景観の変化を写真で記録し、評価を行う。
水質調査	処分場周辺の河川の水質を調査する。	水質調査員が現場で水質を測定する。	水質測定結果を記録し、水質の変化を評価する。
地下水調査	処分場周辺の地下水を調査する。	地下水モニタリング装置を設置し、地下水の成分を測定する。	地下水の成分を測定し、地下水汚染の程度を評価する。
動植物等生態系調査	処分場周辺の動植物の生態系を調査する。	現地視察と写真撮影を行う。	動植物の生態系の変化を写真で記録し、評価を行う。

気象庁の観測所の観測記録だけでは不十分である。
必ず現地での調査を実施すること。

調査項目	調査内容
大気質	大気中の汚染物質（SO ₂ 、NO _x 、PM ₁₀ 、PM _{2.5} ）の濃度を測定する。
水質	河川の水質（pH、DO、BOD、COD、重金属）を測定する。
地下水	地下水の成分（pH、DO、BOD、COD、重金属）を測定する。
振動・騒音	振動（加速度）と騒音（音圧レベル）を測定する。
景観	景観の変化（視覚的評価）を調査する。
動植物等生態系	動植物の生態系（生物多様性）を調査する。

必要に応じて、調査内容を追加する。

キンキクリーンセンターの問題①（福井県敦賀市）

対策前の状況

昭和82年から敦賀市豊曲に設置した管理型最終処分場で産業廃棄物処分業を行っていたキンキクリーンセンター（株）が、平成8年頃から平成12年までの間、無許可で処分場を増設し、許可容量を大幅に超える産業廃棄物の処分を行ったもので、処分場からの浸出液が、処分場直下を流れる木の芽川に漏出している状況でした。

- 1 不適正処分者
キンキクリーンセンター株式会社
- 2 施設設置場所 福井県敦賀市豊曲
- 3 施設の種別
産業廃棄物管理型最終処分場
および一般廃棄物最終処分場
- 4 最終処分容量 約9万m³
- 5 埋立地の現状 約119万m³
(うち違法増設分 約110万m³)
- 6 廃棄物の種類
産業廃棄物：約841千t
(汚泥、シュレッターダスト、燃え殻等)
一般廃棄物：約334千t
(焼却残渣、不燃性廃棄物)
※産業廃棄物・一般廃棄物比率7対3



生活環境保全上の支障のおそれとその対策

当該処分場から、排水基準を超える浸出液が、農業用水や下流域の水源井戸の涵養源となっている木の芽川に流出していることにより、生活環境保全上の支障を生ずるおそれがありました。

そのため、処分場から漏出した浸出液が木の芽川に流出することを防止するとともに、浸出液が早期に排水基準以下になるよう、適切な対策を講ずることとしました。

キンククリーンセンターの問題②（福井県敦賀市）

対策工事の概要

県では、国の同意を得た**埋立計画**に基づき、瓦礫除去事業として実施する抜本対策工事について、地盤工法等の専門家に依頼する「敦賀市民間委託地盤埋立抜本対策工事技術検討委員会」を設置し、実施計画および工事中における施工技術的な課題について、専門家からの意見を聴き入れながら、適宜かつ合理的な工程の選定、設計仕様、施行計画等について検討し、詳細設計を行いました。

また、工事施工中における技術的な課題についても、必要に応じて当該委員会の意見を聴き入れながら、対策工事を進めてきました。

対策工事の施工計画等

抜本対策工事は、平成19年度から平成24年度までの6年間の継続事業として、平成20年1月下旬から現地での工事に着手しています。

- | | |
|--------------------|---|
| (1)鉛直遮水工 | |
| 1.連続地中壁工 | 施工延長：北側 L=315m、南側 L=486m |
| 2.カーテングラウテング工 | 施工延長：1,890m |
| (2)ドレーントンネル工 | 施工延長：1,095m（内径φ2.5m） |
| (3)キャッピング工 | |
| 1.斜面部（遮水シート工） | 施工面積：約135,800㎡ |
| （吹付工） | 施工面積：約 10,400㎡ |
| 2.平坦部（アスファルト舗装工） | 施工面積：約 85,800㎡ |
| (4)防災調整池工・雨水集排水設備工 | 調整池：1基
雨水集排水設備：側溝工1.0式 |
| (5)浸出水貯留槽工 | 貯留槽：10,000㎡ |
| (6)浸出水処理施設工 | 処理能力：350㎡/日（施設の改造、設備増設）
処理方式：生物処理+凝集沈殿+砂ろ過+活性炭吸着 |

キンククリーンセンターの問題③（福井県敦賀市）

抜本対策工事の概要

